



第7回 仙北市産業祭

「農・商・工が手をつないで」テーマに開催



会場に並ぶ見事な展覧品の数々

10月22日・23日の2日間、神代市民体育館を主会場に「農・商・工が手をつないで」をテーマに開催され、多くの方々が訪れました。

農林産物等品評会審査の結果、1等賞16点、2等賞18点、3等賞23点の作品が入賞しました。

体育館には、春からの悪天候など厳しい環境の中、農家の皆さんが丹誠込めて育てた農産物等が昨年よりも78点多く、所狭

しと並べられました。

今回は、特別に宮城県女川町の皆さんが、震災を受け田沢湖高原温泉郷のホテルで避難生活を送ったおかしにと、サンマのつみれ汁の提供や「獅子振り」の伝統芸能を披露しました。最後に「生きる力をありがとう」と書かれた垂れ幕を出すパフォーマンスには、来場者から大きな拍手が送られました。



女川町の皆さんがサンマのつみれ汁を振るまう

農林産物等品評会

第1部水稲・豆類・雑穀（出品20点）（仙北農業共済組合長理事賞）☆俵米 藤島純一（西木町戸沢）第2部特用林産物・果実・苗木・花き（出品33点）（仙北東森林組合代表理事組合長賞）☆生しいたけ 黒坂和夫（角館町鬼壁）◎りんどう 田口藤興（角館町八掛）第3部野菜・いも類（出品284点）（仙北市長賞）☆山の芋 草薨コン（田沢湖神代中央通）☆VSほうれん草 佐藤信行（西木町浦子内）【秋田県農業協同組合中央会長賞】☆ネギ 佐藤真莉（西木町山崎）☆ゴボウ 千田吉栄（田沢湖谷地村）、☆小松菜 浅利忠幸（西木町大台野）【仙北市議会議長賞】☆VS春菊 門脇昭子（西木町大台野開）【秋田おぼこ農業協同組合代表理事組合長賞】☆山の芋 藤川智裕（田沢湖中

敬称略・○内は集落名、☆印（1等賞兼特別賞）◎印（1等賞）関、☆霜降りインゲン 会場義昭（田沢湖太田）、☆キユウリ 佐々木吉幸（角館町大中嶋）【仙北市農業委員会会長賞】☆キャベツ 長沢弘子（角館町下延切欠田）【珍品賞】にんじん 青柳忠明（角館町下延大畑）第4部食品加工（出品31点）（仙北市商工会長賞）☆あげ干しもち 雲雀せつ子（角館町別当村）第5部葉たばこ（出品18点）【秋田県たばこ耕作組合長賞】☆葉たばこ 千葉恭子（田沢湖小松）第6部工芸品・手芸品（出品19点）【仙北市長賞】☆レース編み 阿部ヒデヨ（西木町上門屋）

菊花の部入賞者

【大菊（厚物・細物）】最優秀賞 古郡一美 優秀賞 太田弘、古郡一美 優良賞 武藤長衛、中村六郎 努力賞 阿部義信、柏谷朝二、岩沢昭夫

まちづくり日記

No. 34

「宏樹君の疑問」

仙北市長

門脇

光浩

11月6日の秋田魁新聞「私の注目記事」に載った、北秋田市の佐藤宏樹君（綴子小学校6年生）の疑問を紹介します。この記事には「被災地思い判断を」という見出しがついていました。

「ぼくは震災がれき受け入れゼロという記事を読んで、秋田県も東北なのに、なぜがれきを受け入れられないのかと疑問に思いました。く今も震災で苦しんでいる人がいるのに、受け入れがゼロだったら考えると、とても悲しいと思うからです。くがれきに放射性物質が入っていても、体に影響のないものを選んで、少しでも受け入れられないかと思いました。く被災地のことをよく考えてほしいと思います。」

宏樹君、確かに今は、受け入れを表明している市町村がゼロです。君が悲しむ現実があります。でもね、多くの市町村長の本心は「何とか受け入れをして、復興の支援をしたい。ただし受け入れの安全性を説明できるか、安全な仕組み

をつくれるか、受け入れたことで起こるかも知れない風評被害と向き合う力があるか」……。こんな風に思っているのではないかと感じています。少なくとも自分はそのように思っています。

新聞を読んで、宏樹君からたくさんのご意見を教えられた気がします。思っているだけでは何も解決しませんね。思いは行動を伴わなければ、思わないことと同じ。ただ思うだけでは、何も変わらないし、誰を救うこともできません。

大人は、子どもよりもたくさん情報を得ることが出来ます。大人はその情報を分析し、できるだけ痛みの少ない、誰からも批判の出ない行動を選びがちです。でも本当に大事なことを諦めてしまっ

てはダメですね。特に今は、被災地のために労を厭わない、信念の行動が必要なのですから。震災が起こった直後から、市民も議会も行政も、全力で復興支援に取り組んできた仙北市です。がれき問題にも背を向けません。

第7回 仙北市文化祭

■日ごろの活動成果を発表

仙北市文化祭が、10月22日・23日に角館地区、10月29日・30日に田沢湖地区、11月5日・6日に西木地区でそれぞれ行われました。

各会場には、日ごろの活動成果の絵画や書道、陶芸、手芸、生け花、短歌などが多数展示され、来場者は様々な文化にふれ合いました。

角館地区（会場：角館交流センター）今年の文化祭は角館地区からスタート。会場内の展示のほか、角館中学校オーケストラの演奏が行われ、和室では茶道連盟の皆さんがお茶を振る舞いました。2日目は角館芸術文化協会会員による民謡や踊りなどが披露されました。

田沢湖地区（会場：生保内市民体育館）会場入り口付近に飾られた幼稚園・保育園児の作品が来場者を迎えます。七宝焼きや革ひもアクセサリーの体験コーナーではオリジナル作品の制作を楽しむ様子も見られました。JA直売部会「田沢湖加工グループ」による野菜の即売会も好評でした。

西木地区（会場：クリオン多目的ホール・体育館）松木内中学校吹奏楽部の演奏から始まった西木地区。展示のほかにも、広報の表紙絵を描く鈴木一枝さんの絵手紙体験が行われました。2日目はクリオン2階ホールで地元の団体・サークルが踊りや太鼓、歌などを発表しました。



角館地区



田沢湖地区



西木地区